

kokyoso tsushin  
**高教組通信 No. 1** 2014年5月5日  
兵庫高教組書記局

URL : <http://www.hyogo-kokyoso.com> E-mail : [honbu@hyogo-kokyoso.com](mailto:honbu@hyogo-kokyoso.com)

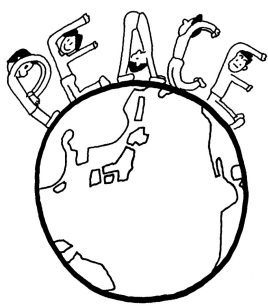
# 教育が政治の言いなりに？ 「教育委員会『改革』」衆院審議入り

教育委員会を首長の支配下におこうとする「教育委員会『改革』法案(地方教育行政法改正案)」が、4月15日衆院本会議で審議入りしました。戦後、教育の「政治的中立性」を確保するため、首長と切り離して運営されてきた教育委員会でしたが、さてその危険な中身とは・・・。

## ◎そもそも「教育委員会」って？

### 戦前の反省から

もともと教育委員会は戦後1948年、選挙で選ばれた教育委員たちがその自治体の教育のあり方を決めるといふ、民主的な制度として発足しました。「お国のために血を流せ」という中央集権型の教育行政を改め、教育の自主性を守るために教育行政を首長から独立させたのです。



### その仕組みとは

教育委員会は都道府県や市町村、すべての自治体に置かれています。委員は幅広い層から選ばれた住民の代表で組織され、首長が議会の同意を得て任命します。人数は原則5名で、その中から教育委員長と教育長を選出します(任期は4年)。そして、その様々な立場にある複数の委員の合議により、中立的な意志決定を行います。ちなみに県庁内の教育委員会で働いている方々は、正確には教育委員会“事務局”職員であり、私達と同じ公務員です。

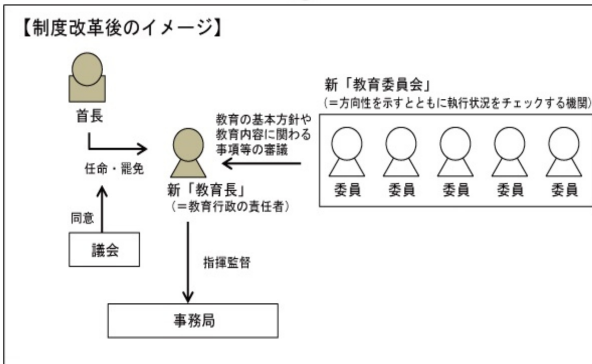
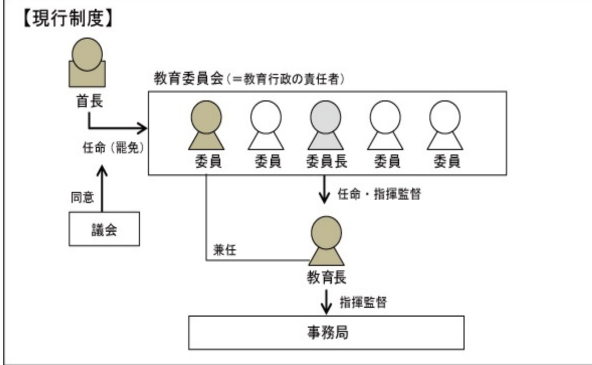
## ◎「教育委員会」を守れ！？

### 歴代政権による形骸化

公選制の廃止後、教育委員会の本来の意味がどんどん失われていった面は否定できません。歴代の自民党政権は、例えば「君が代・日の丸」などの国の方針を学校現場に押し付けるため、教育委員会“事務局”にその役割を負わせ、教育委員会の自主性を奪って来ました。その結果、教育行政が次第に閉鎖的で官僚的になっていきました。

### 現場を守る教育委員会

それでもまだ、教育委員会には「首長からの独立性」が残されています。大阪市で橋下徹市長が違法な「思想調査」を行おうとした時、大阪市教育委員会は否決し教育現場を守りました。島根県松江市では、教育長が漫画『はだしのゲン』を学校図書館から撤去させた時、教育委員会がその決定を取り消しました。教育委員会は“最後の砦”をまだ守っているのです。



## ◎どのように変えようとしているのか ～安倍「教育委員会『改革』」の中身～

①教育委員会から教育長の任命権や指揮・監督権限を奪い、教育委員長と教育長を一本化し、首長が直接、教育長を任命する。②首長と教育委員会で組織する総合教育会議を設置し、首長が教育の振興に関する「大綱」を策定する。③国による是正要求の要件を緩和する・・・などが柱となっています。

## ◎全国の教育委員からも危惧の声 ～7割近くの教育委員が反対～

教育行政に首長の政治的考え方が、より反映しやすいしくみにしようとしていることに対して、7割近くの教育委員が反対していることが、教育委員会制度「改革」に関する全国の教育委員へのアンケート(「子どもの権利・教育・文化全国センター」が実施)で明らかになりました。

## ◎高教組はこう考えます ～教育委員会を国民のものに～

私たちは、安倍政権の教育委員会「改革」に反対です。しかし、教育委員会制度が今のままでよいとは考えていません。子どもの教育のために、教育委員会制度を、戦後の原点にもたちかえって、住民や子どもたちの声が反映するように、民主的に改革する必要があるというのが私たちの立場です。

教育とは、社会全体で行われる、子どもの成長・発達のための文化的な営みです。学校教育は教職員と子どもとの人間的な触れ合いを通じて行われるもので、自由や自主性が欠かせません。何をどう教えるかは関係する学問や教育学に基づかなければなりません。政治が何より行うべきことは、教育条件を整備し、子どもの学ぶ権利を保障することです。政治権力による教育内容への介入・支配などということは決してあってはならないと考えています。

## ◎国会に署名を 届けよう！



「地方教育行政法の『改正』」に反対する請願 署名にご協力下さい。「教育の自主性を守ろう」という声を国会に届けましょう。

## ◎私たちと一緒に

私たち高教組は、子どもたちの豊かな成長のために、教育研究活動や教育条件の改善に取り組んでいます。また、「教え子を再び戦場におくるな」の誓いを胸に、憲法を守り、いかず運動をすすめています。思想・信条のちがいを超え、要求で一致して行動する組合です。一人で考えているだけでは、目の前の子どもたちを守ることはできません。あなたも高教組に加入し、共に行動しましょう。